

衛生通信

9

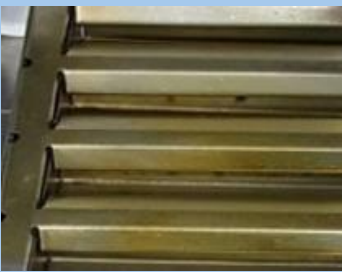
今月のテーマ：現場の油汚れの落とし方



現場では落とすことが難しい頑固な油汚れについて、適切な洗浄剤は何なのか・どのように落とせばいいのか、今回は解説します！

■油汚れは放置するとどうなる？

油汚れは、時間が経過したり、熱が加わったりすることで汚れの分子が変質します。変質すると、油同士が結合することで、高分子となり、**より汚れが落ちにくくなります。**

ぬるつき	べとつき	焼き付き
		
調理台まわりなど 触るとヌルヌルする	換気扇まわりなど 触るとべとべとする	熱源まわりなど 触ってもあまりべとつかない
未変質	変質度 低	変質度 中

← **非苛性**のアルカリ洗浄剤 →

← **苛性配合**のアルカリ洗浄剤 →

界面活性剤・溶剤をバランスよく配合し、複合的な作用でべとついた汚れに向いている

強いアルカリ性を持った水酸化ナトリウムや水酸化カリウムを配合し、変質した汚れにも向いている

例



ケミファインクイックすずぎ

主成分
界面活性剤
アルカリ剤
モノエタノールアミン
溶剤

例



ニューケミクール

主成分
アルカリ剤
水酸化ナトリウム
水酸化カリウム

加熱調理機器周りや、長期放置汚れのリセット洗浄には、**苛性配合の洗浄剤を使用することで、汚れを除去しましょう！**

※洗浄剤の表示を見ると、配合成分が確認できます。

洗浄オペレーション

洗浄剤を吹きかける

重要

10分程度放置する

重要

擦る

重要

しっかりすすぐ



接触時間を確保することで、汚れを分解・乳化します。10～20分程度、放置しましょう！

汚れが変性して中々落ちない場合、より強い物理力をかけるため、しっかりこすりましょう！

冷水よりも、温水（40℃程度）の方がよく落ちます！



■清掃が難しい場所はどう工夫する？

機器下や高所の箇所など、そもそも清掃が難しい箇所は、洗浄剤だけでなく、清掃用具＋洗浄剤をダブルで使用することで、日常清掃を効率化しましょう！



機器下の洗浄



水流式フォーマー× ケミファイン
クイックすぎ

泡状の洗剤を一気に散布できるため、ムラなく効率的に洗浄ができます。延長ノズルを活用することで、機器下などのブラシが入らない箇所にも効果的です！

狭い箇所も一気に洗浄！



高所の洗浄

清掃用具の工夫(持ち手の長い清掃用具 など)



脚立を使用すると、高所清掃ができますが、転倒に繋がる危険があります。柄の長い清掃用具を活用することで、作業負担を減らしましょう！※必ず保護メガネを着用しましょう。

高所も洗浄ができる！



■洗浄力を決める5つの要素

洗浄力を決める要素は、汚れに適した「**洗剤・洗浄剤**」を選定するだけではなく、こすり洗いによる「**物理力**」や「**時間**」、洗浄の「**温度**」が決め手となります。

ただし、洗浄を行う「**人**」が使用濃度や手順を誤ってしまうと、効果的な洗浄力は期待できません。そのため洗浄マニュアルを作成し、スタッフに対して教育やトレーニングを行うことが必要です。



■どうしても落ちない汚れは？

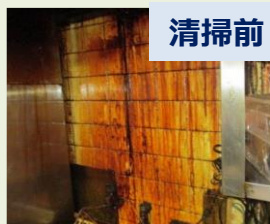
洗浄力を決める5つの要素

清掃が難しい箇所は、プロの手を使うことで、業務負担を減らせます。ニイタカでは様々な清掃サービスを実施していますので、お気軽にお問い合わせください。

ニイタカで実施している清掃サービス

【例】

- エアコン分解洗浄
- グリストラップ清掃
- フード・ダクト清掃
- 天井・壁の清掃
- 防カビ施工



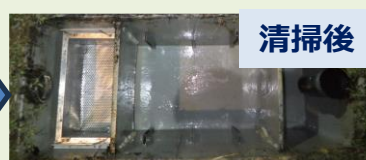
清掃前



清掃後



清掃前



清掃後